

富山県鉱工業生産の動き

～平成19年(2007年)8月分～

総合指数

平成12年(2000年)=100、季節調整済

	19年8月	前月比(%)	前年同月比(%)
生産指数	105.8	0.7	2.7
在庫指数	98.7	2.3	1.9

- 1 生産指数(季節調整済指数)は105.8と前月に比べ0.7%の上昇となり、2ヵ月連続で上昇した(図表)。これは13業種中、**パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業**など6業種が上昇し、**化学工業、輸送機械工業**など7業種が低下した。

業種別にみると、**パルプ・紙・紙加工品工業**は紙などの増加により前月比**23.6%の上昇**で97.8となり、**電気機械工業**は集積回路などの増加により前月比**1.9%の上昇**で131.3となった。他方、**化学工業**が医薬品などの減少により前月比**7.2%の低下**で101.2となり、**輸送機械工業**は前月比**30.6%の低下**で74.7となった。

また、13業種中、平成12年基準の指数100を上回っている業種は、**一般機械工業(145.5)、電気機械工業(131.3)、非鉄金属工業(127.9)、鉄鋼業(114.4)、化学工業(101.2)**の5業種となった。

なお、前年同月比(原指数)は**2.7%の低下**となり、2ヵ月ぶりに前年を下回った。

- 2 在庫指数(季節調整済指数)は98.7と前月に比べ2.3%の低下となり、2ヵ月連続で低下した(図表)。これは13業種中、**非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業**など4業種が上昇したものの、影響の大きい**化学工業、繊維工業**など9業種が低下したことによる。

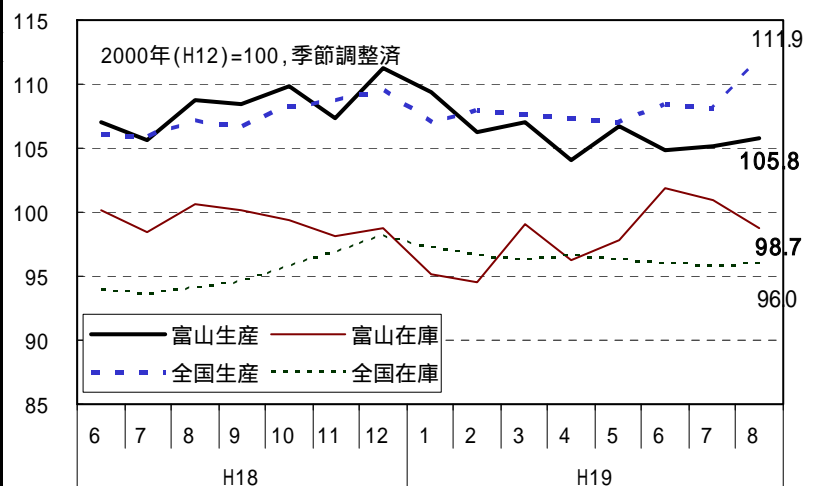
なお、前年同月比(原指数)は**1.9%の低下**となり、3ヵ月ぶりに前年を下回った。

指数の動き

平成12年(2000年)=100、季節調整済指数

	富山県		全国		
	生産指数	在庫指数	生産指数	在庫指数	
平成18年	6月	107.1	100.1	93.9	
	7月	105.7	98.4	93.6	
	8月	108.8	100.6	94.0	
	9月	108.5	100.1	94.6	
	10月	109.9	99.4	95.8	
	11月	107.4	98.2	96.9	
	12月	111.2	98.8	98.2	
	平成19年	1月	109.3	95.2	97.2
		2月	106.2	94.6	96.6
		3月	107.1	99.1	96.2
		4月	104.1	96.3	96.6
		5月	106.7	97.8	96.2
6月		104.8	101.9	95.9	
7月		105.1	101.0	95.8	
8月		105.8	98.7	111.9	96.0

図 生産・在庫指数の推移



・問い合わせ先：富山県経営管理部統計調査課 TEL 076-444-3193(直通)

・次回公表予定日：平成19年11月26日(月)

・「富山県鉱工業生産の動き」は、HP「とやま統計ワールド」でご覧になれます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/>

平成19年8月分 業種別の主な動向

主な業種は寄与率（全体に与える影響）の大きい順に掲載
ウェイトは10000分比で算出

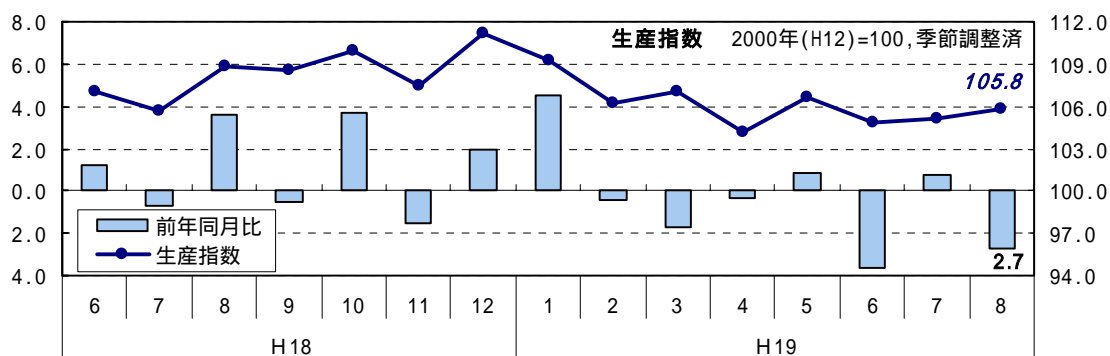
<生産> (指数105.8 (前月比+0.7%))

上昇した業種 (6業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	寄与した主な品目	前年同月比 (%)
パルプ・紙・紙加工品工業	526.5	97.8	23.6	紙など	2.1
電気機械工業	1631.2	131.3	1.9	集積回路など	2.6
非鉄金属工業	527.4	127.9	6.1	アルミニウム圧延製品など	3.4

低下した業種 (7業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	寄与した主な品目	前年同月比 (%)
化学工業	1946.3	101.2	7.2	医薬品など	11.6
輸送機械工業	142.9	74.7	30.6		32.2
プラスチック製品工業	520.3	94.2	6.1	機械器具部品など	10.7



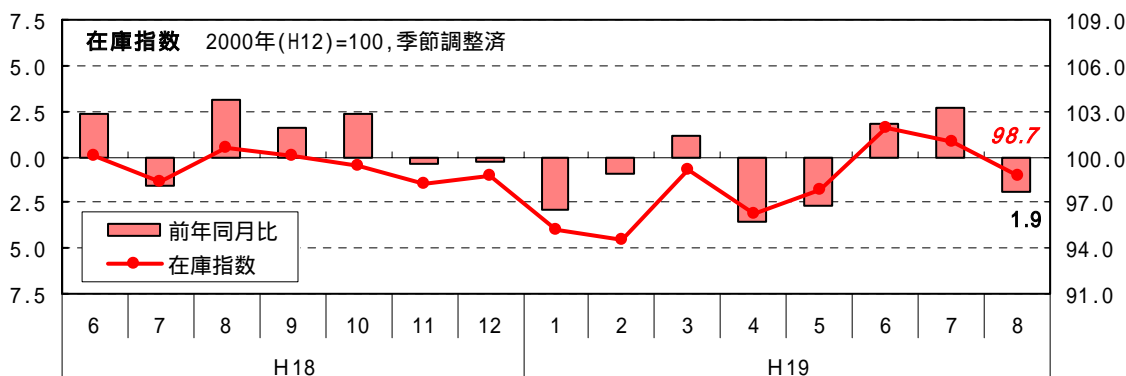
<在庫> (指数98.7 (前月比 2.3%))

低下した業種 (9業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	寄与した主な品目	前年同月比 (%)
化学工業	2329.6	114.6	5.0	医薬品など	2.4
繊維工業	582.2	76.4	7.1	化繊・紡績など	5.9
電気機械工業	270.1	140.7	8.2	回転・静止電気機器など	27.4

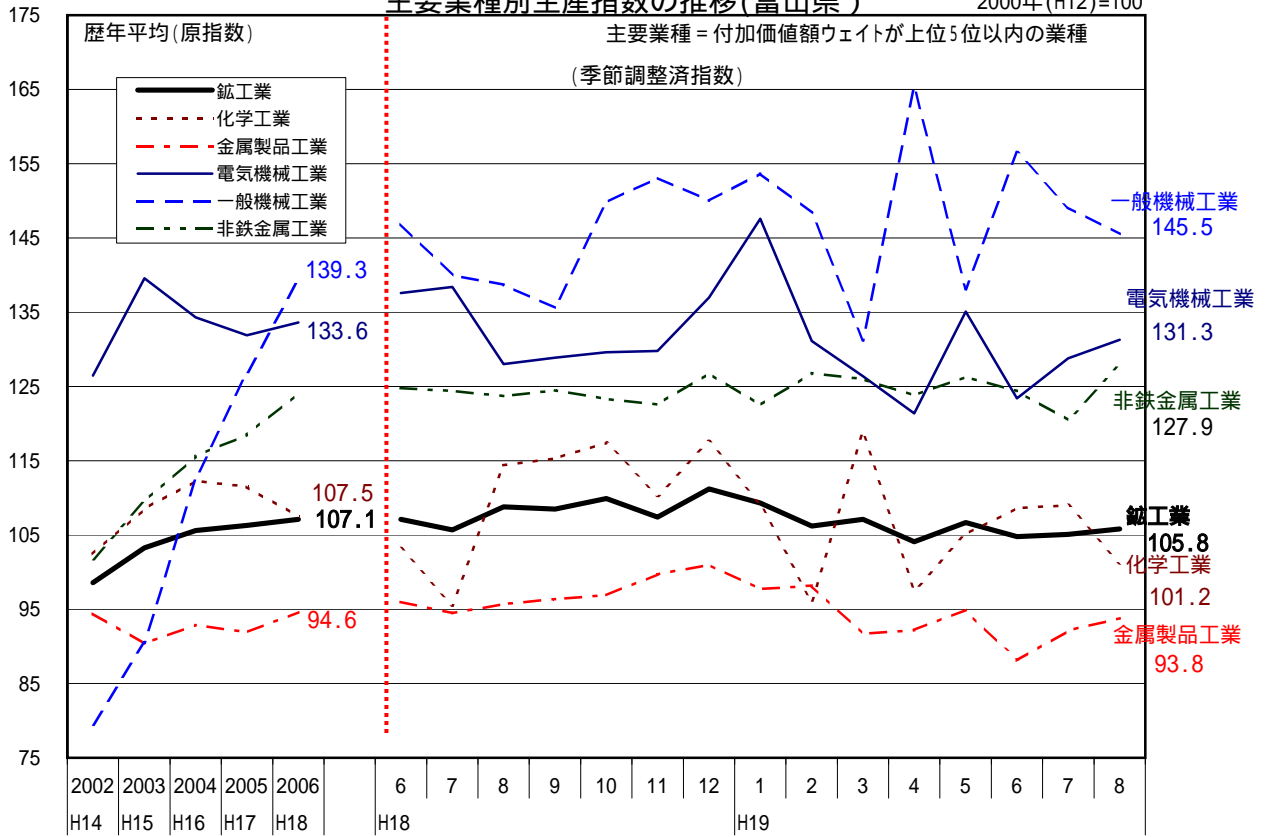
上昇した業種 (4業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	寄与した主な品目	前年同月比 (%)
非鉄金属工業	580.4	148.9	9.5	電線ケーブルなど	37.8
パルプ・紙・紙加工品工業	533.1	108.7	4.2	紙など	10.9
輸送機械工業	111.9	127.3	8.1	自動車部品など	17.6



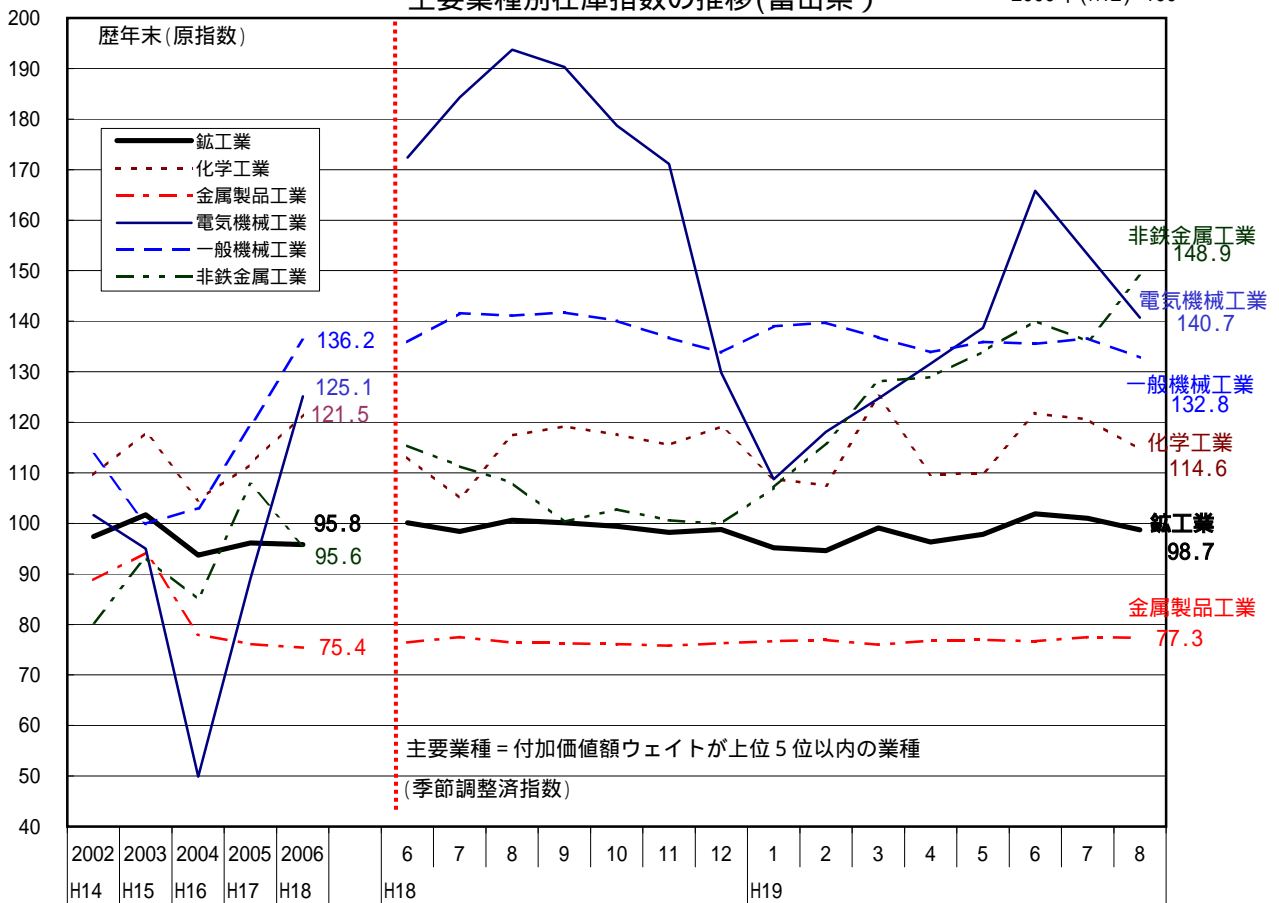
主要業種別生産指数の推移(富山県)

2000年(H12)=100



主要業種別在庫指数の推移(富山県)

2000年(H12)=100



鋳工業指数利用者のために（利用上の注意）

1 作成目的

鋳工業の生産及び在庫状況を数量的に調査し、富山県における鋳工業の動向を総合的に把握することを目的とする。鋳工業指数とは、一定地域内における月々の鋳工業生産量及び在庫量を、ある一定時期を基準にして指数化したものである。

2 基準時及びウェイト算定年次

指数の基準時は平成12年(2000年)である。したがって、指数値は平成12年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成12年の産業構造により作成されている。平成12年基準は、平成15年9月19日に公表し、同年7月分指数から適用するとともに、平成10年(1998年)まで遡及計算を行っている。

3 分類

分類は、日本標準産業中分類(若干の組み替えを行っている)に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類(財別)」の2つの分類による。

4 指数の種類及び採用品目数

	採用品目数				ウェイト 算定基準
	計	製造工業	鋳業	電力・ガス事業	
生産指数	209	206	1	2	付加価値額
生産者製品在庫指数	147	146	0	1	在庫額

- ・生産指数(付加価値額ウェイト) 生産活動の生産水準の動き
- ・生産者製品在庫指数 生産製品が出荷されずに生産者段階に残っている在庫の動き
受注生産等で在庫を把握する必要がないものや、在庫の把握が極めて困難で数値が得られない品目があるため、生産者製品在庫指数の採用品目数は、生産指数より少ない。特殊分類は、財用途が2財にわたる(4品目)ものはウェイトを分割して各財毎に集計しているため、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致していない。
また、採用単位は、製品数量単位及び製品固有単位を基本としている。

5 総合指数の算式

総合指数の算式は、品目別指数を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)による。具体的には次のとおり。

$$I_t = \frac{\sum P_{io} Q_{it}}{\sum P_{io} Q_{io}} = \sum \frac{P_{io} Q_{io}}{\sum P_{io} Q_{io}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{io}} \right] = \sum \frac{W_{io}}{\sum W_{io}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{io}} \right]$$

I_t ...t時点の総合指数
 P_{io} ...品目別平成12年平均単価(生産指数は品目別平成12年平均付加価値単価)
 Q_{io} ...品目別平成12年1ヶ月平均数量(基準数量)
 Q_{it} ...品目別比較時数量
 W_{io} ...品目別平成12年ウェイト(ウェイトは鋳工業に対する万分比)

6 季節調整方法

センサス局法(X-12-ARIMA)を採用

季節調整済指数 = 原指数 ÷ (季節指数 × 曜日・祝祭日指数)

平成19年1月以降の季節指数は、平成18年の季節指数を適用している。

7 その他

本書記載の数値を転載するときは、「富山県鋳工業生産の動き」による旨を明記してください。この月報の前月公表値が修正報告により若干変更されている場合があります。内容についてのお問い合わせは、下記あてにお願いします。

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
 富山県 経営管理部 統計調査課 商工係
 Tel:076-444-3193(直通)